

議会基本条例（素案）町民意見交換会会議録（要旨）

○日 時 平成25年5月22日（水）18：30～20：30

○場 所 熊石福祉センター

○出席委員（17名）

委員長 岡田修明君	副委員長 三澤公雄君
委員 佐藤智子君	委員 横田喜世志君
委員 安藤辰行君	委員 岡島敬君
委員 宮田清市君	委員 齋藤實君
委員 井口常義君	委員 掛村和男君
委員 赤井睦美君	委員 黒島竹満君
委員 田中裕君	委員 桂川末勝君
委員 能登谷正人君	委員 千葉隆君

議長 小林信雄君

○欠席委員（1名）

委員 高木壽冀君

○事務局（4名）

事務局長 中野修
次長 鈴木明美
議事係長 戸田淳
臨時職員 黒畑朝子

○町民参加者（13名）

○参加者合計 34名

1. 開 会 (三澤副委員長)

2. 八雲町議会 小林議長あいさつ

3. 議会改革調査特別委員会 岡田委員長あいさつ

4. 議員自己紹介 各参加議員より一言あいさつ

5. 意見交換会の進め方の説明 三澤副委員長

6. 意見交換会配布資料の説明

① 赤井委員 意見交換会資料及び条例(素案)前文～第5条

② 横田委員 条例(素案)第6条～第16条

7. 意見交換

(町民)

- ・ 議会報告会は合併後8年間、開催したことは無いのか。

(議会)

- ・ 議会として報告会を開催したことは無い。意見交換会は、昨年、選挙区、議員定数、議員報酬について開催した。

(町民)

- ・ 年1回以上、議会報告会の場で町民の意見を述べる事ができるようになるのか。

(議会)

- ・ 議会報告会の場でもできます。また、第9条の一般会議は、町民の団体等からの要請により開催することができる。

(町民)

- ・ 団体に属さない10人、20人のグループでも対応してくれるのか。

(議会)

- ・ これから、特別委員会に設置している小委員会で、具体的なルールづくりを進めていくことになるので、本日出された意見等についてもその中で検討する。

(町民)

- ・ TPPについて、議員は全員反対という考えか。

(議会)

- ・ 議会広報において、議員個々の賛否を掲載しているので、確認してください。

(町民)

- ・ なぜ、議会報告会と一般会議を区別するのか。少なくとも年3～4回は説明会を開催するのが望ましい。議員と町民がふれあう場を設けることが大事であり、定例会後くらいには、全部の地区とはいかないだろうが、町内の何地区かで開催してほしい。

(議会)

- ・ この件に関しては、これからルール作りを行うため、持ち帰って議論します。

(町民)

- ・ 議会の活動が見えないので見えるようにしてほしい。議員協議会は傍聴できるのか分からない。

(議会)

- ・ 議会の活動は、本会議、常任委員会の外にも、全員協議会、会派代表者会議、議会運営委員会などの活動があり、全ての会議が公開可能となっている。ただし、今の規則では委員長の手許が必要だ。

(町民)

- ・ 総合病院の本館棟改築の話が出た時に、議員協議会を何回も開いて協議したと聞いているが、町議会がどんな考えで町長と対応したのか全く見えなかった。

(町民)

- ・ 議会だよりは、本会議の内容だけでなく、もっと次元の低いことでも載せてほしい。今の議会だよりは堅い。委員会や協議会など、いろいろな活動があるということを知らせるべきでは。

(議会)

- ・ 紙面のやりくりで努力していく。

(町民)

- ・ 第16条の見直し手続きで、見直しは誰が行うのか。議員自らやるのか、それとも第三者が行うのか。

(議会)

- ・ 議員自らが行います。一般選挙後ということで、特別委員会は解散しているため、議会運営協議会でもんだ後に、全員協議会など全議員で行う部分もあると思う。また、一般会議等で町民の意見を聞くということもあり得る。

(町民)

- ・ 高齢者入浴券の関係で、八雲の入浴施設が利用できなくなったと聞き、この制度が廃止されないか心配だったが、今年度も継続されたため安心している。廃止されなよう願いたい。

(議会)

- ・ シルバープラザの温泉施設が廃止となり、昨年度は代替として銭湯を利用させてもらったが、銭湯の利用もできなくなったため、新しい制度を考えることとなり、八雲地域では、8月から1枚200円の補助券を出すことになった。また、来年度からは、熊石地域も200円の補助券に統一する予定。
- ・ ひらたない荘は、来年3月までは自己負担50円、26年度からは、全町的に200円の補助となる。
- ・ 今までは、熊石1か所、八雲1か所のサービス提供だったが、来年度からは、落部地区や野田生地区の施設も利用でき、また、熊石地域では、見市温泉も対象となる。

(町民)

- ・ 良いまちにするために、議会からも政策提案してほしいという願いがあるが、努力する

部分が見えない。

(議会)

- ・ 基本的に町長提案の審議となるが、議員自らの提案もできるように思っている。
- ・ 自治体の政策は、総合計画で位置づけられており、その最終決定は議会での議決となる。

(町民)

- ・ 今回文章化した内容は、今までもやってきたのではと思うが、今回の素案の中で、これまでと違いがあるものがあればお知らせ願いたい。

(議会)

- ・ 大きくは、一般会議と議会報告会がわかり易く変わった部分となる。
- ・ 改選後も議会と町民との約束として引き継がれるようにしたい。
- ・ 各委員会を許可なしでも傍聴ができるようにした。

(町民)

- ・ 議員個人の懇談会をされたことはあるか。

(議会)

- ・ それぞれが色々な手法で懇談をしている。

(町民)

- ・ この条例によって、議員が町民からしぼられることになる。誰が議長でも委員長でもやっていかなければならない。こういう形は素晴らしい。
- ・ 熊石～八雲間は30kmの距離があり傍聴はなかなか難しいので、議会報告会を全員出席で年1回の開催でなくても、議員数名で良いから回数を多くしてほしい。
- ・ 誰がどのような質問をするのか。項目だけでも周知することで傍聴者も増えるのではないか。防災無線を利用した周知はできないか。できれば当日ではなく事前に情報提供があるとありがたい。

(議会)

- ・ 一般質問項目については、昨年度から、役場や総合支所、公民館などでの啓示を行っている。
- ・ 防災無線等、今後も使えるものであれば、利用しながら取り組みをすすめていく。
- ・ ネット配信ができるようになれば、リアルタイムで映像が見れるようになる。

(町民)

- ・ 今日の意見交換会、合併から7～8年が経過しており、その間の開催は難しかったのか。
- ・ 議会報告会は、年1回以上とあるが、最低でも前期、後期の年2回は開催してほしい。

(議会)

- ・ 議会報告会の開催方法等、持ち帰って、小委員会で検討します。

(町民)

- ・ ネット配信の話がでたが、熊石地域には光回線もない。

(議会)

- ・ 業者も利益がでなければ整備しないということもある。今後、議論していきましょう。

(町民)

- ・ 議会は、良い町をつくるための役割をもっている。町民が、行政の役割と議会の役割を

もっと意識していかなければならない。町民は行政依存がまだあるので、議員もまちづくりの意識付けの活動をしてほしい。

(町民)

- ・ 以前から声があったのに、なぜ今の時期に議会基本条例なのか。

(議会)

- ・ 当初、平成24年10月にはある程度できているフローだったが、議論を深めていく中で、ここまで延びたもの。
- ・ 平成22年度に八雲町の自治基本条例が制定され、議会は議会として今までもやってきたが、この条例をつくることにより、必ずやらなければならないという担保となる。

8. 参加者へお礼 岡田委員長

9. 閉会